

令和8年度 東京都立王子総合高等学校 学校経営計画

I 目指す学校

(1) 王総ブランド(特色・魅力)を実行、PRし、ブラッシュアップし続ける学校

総合学科で学びたい、総合学科の中でも王子総合で学びたい、という希望をもって入学した在校生、受検する中学生、それぞれの保護者の期待に応えるため、「王総ブランド」を常にブラッシュアップする。

(2) キャリア教育をアップデートし、生徒が「Design Your Dream」を具現化する学校

総合学科として、1年「産業者社会と人間」、2年「総合的な探究の時間」、3年「課題研究」を通して、3年間の学びをストーリー化し、自らの進路を自らの言葉で、将来に希望をもって語る生徒を育成する。

(3) 生徒・教職員のためになる施策を積極的に取り入れ、プラスの意識改革をもたらす学校

文科省 DX ハイスクールプロフェッショナル型採択校、英検全員受検、海外修学旅行、海外探究フィールドワーク指定校、エンジョイスポーツプロジェクトなどに価値を見出し組織的に取り組む。

(4) 生徒、教職員、保護者、受検生、卒業生、地域から愛される学校

校長としてのビジョンは、「生徒、教職員、受検生、保護者、卒業生、地域から愛される学校をつくること」である。そのためには、①生徒と教職員のウェルビーイング(個人が肉体的、精神的、社会的に満たされた状態)、②保護者の信頼、満足感、③中学生の憧れ、④卒業生、地域が応援したい気持ちを高める学校経営を組織的に行う。

II 中期的目標と方策

(1) 未来につながる都立高校としての学校経営

「2050 東京戦略」を見据え、「東京都教育施策大綱」「東京都教育ビジョン(第5次)」を具現化する学校経営を行い、「次世代の学びの基盤プロジェクト」を実行し、未来に向けて生き抜く力を身に付ける人材を育成する。

(2) 総合学科としての魅力や特色を生かした教育活動

令和12年度から急激に減少する受験人口推移を見据え、選ばれる総合学科として、5か年計画による①文系・理系に縛られない STEAM 教育、②幅広い教養が得られるリベラルアーツ教育を生かした再編を行う。新たなキャリア教育にデジタル、グローバル、アントレナージュ、クリエイター育成要素を加えていく。

(3) 見える学力を伸ばし、見えない学力や潜在能力(ポテンシャル)を引き出す教育

次期学習指導要領を見据え、「見える学力」「見えない学力」を相乗的に伸ばす授業改革に取り組む。全教職員が一斉授業の知識注入型教育、「正解主義」「同調圧力」から脱却し、生徒の主体性を重視した教育活動をマネジメントして実践できるようにする。

(4) 卒業後、成人として社会に求められる人材となるような人間性の涵養

「外に向かって挑戦する」経験を積ませ、自己理解、他者理解、コミュニケーション力、探究心、課題解決能力を高めさせる。卒業時までには、グローバルな視野、デジタル活用能力、生成 AI の正しい理解を使い方、主権者意識、民主主義や納税の理解、人権尊重や多様性の理解、健康な生活への知識・理解を身に付けさせ、18歳成人として恥ずかしくない、心豊かな人間性を育ませ、社会へ送り出す。

III 今年度の取組目標と方策

5つの目標バージョンアップ (5★ Five Star)



① 生徒の主体性を育む教育活動をマネジメントし、レベルアップを図る。リーダーの育成!

② 授業改革(探究学習、デジタル活用、プレゼン力、資格・検定等)に取り組み、共有化する!

③ 生徒の第一志望に見える化・計画化、相談・分析し、チームで合格に導く。

④ 生徒の心のケア、見守りの徹底、マナー・ルール指導に、全教職員が同一歩調で取り組む。

⑤ 全教職員が自他のライフワークバランスを尊重し、各自の職責を果たす。

(1)教育活動の目標と方策

今年度の目標	具体的な方策
1 生徒の主体性を育む教育活動をマネジメントし、レベルアップを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ① 各分掌、年次、教科は生徒の主体性を育成するためのマネジメントを実践する。 ② 学校の特色・魅力を生徒が体現し、内外にPRできる企画、機会を増やす。 ③ HR、学校行事、部活動、生徒会、委員会等ではリーダーを育成し、委ねる。 ④ 三大大事は、失敗を恐れず生徒主体とし、最後までやり抜くよう指導する。 ⑤ 全教職員は、生徒の主体的取り組みを記録し、HP、インスタグラムなどでPRする。 ⑦ 生徒会や部活動は、ボランティア活動や地域貢献に積極的に取り組む。 ⑧ 国際理解、日本伝統理解、多様性理解などを通して、真なるグローバル人材育成に取り組む。
2 授業改革(探究学習、デジタル活用、プレゼン力、資格・検定等)に取り組み、共有化する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の潜在能力を引き出す授業や総合学科ならではの魅力である授業をブラッシュアップする。 ② 次期学習指導要領に基づくカリキュラム・マネジメントを意識した教育課程と評価を検討する。 ③ 各教科・科目は生徒にルーブリックと年間指導計画、評価基準をわかりやすく説明する。 ④ シラバス説明や、履修相談を通して「自分だけの時間割」がより良いものになるようサポートする。 ⑤ 全教科で探究的な見方・考え方を取り入れた学び方、教え方を実践する。 ⑥ チョーク&トーク授業から脱却し、探究的、協働的、個別最適な授業を展開する。 ⑦ デジタル力やプレゼン力を育成し、PC 端末や図書館利用を効果的に授業で活用する。 ⑧ オンライン学習デーに限らず、必要に応じて双方向オンライン授業を可能とする。 ⑨ 英検全員受検をはじめ、情報、商業、家庭、工業における資格・検定合格を支援する。 ⑩ DXハイスクールとして理数、AI、データサイエンスへの関心を高め、デジタル人材育成に取り組む。 ⑪ 自己研鑽、人材育成のため、授業見学4回、若手授業2回、校外研修1回を実践する。先進的な取り組みを取り入れた授業を、校内研修で観察・協議する。 ⑫ 校務支援システム、採点システム、教育ダッシュボードを活用したエビデンスに基づく考察を導く。
3 生徒の第一志望が見える化・計画化、相談・分析し、チームで合格に導く。	<ul style="list-style-type: none"> ① Design Your Dream の実現のため、全教職員が生徒共にキャリアデザイン科目の充実を図る。 ② 全教職員が生徒の第一志望を情報共有し、チームで合格に導くサポート体制を構築する。 ③ 王子総合のキャリア教育を校内研修で理解し、全教職員が自ら広報ができるようにする。 ④ NPOや教育関連企業との連携が見える化し、校内研修依頼やアウトリーチを進める。 ⑤ キャリアカウンセラーは年次と連携し、定期的に生徒・保護者に進路希望調査を実施し、結果一覧、各種分析結果が見える化・意識化できるようにする。 ⑥ キャリアデザイン部は模試の結果を、Excel データでの保存、業者による生徒、保護者、教職員への分析会実施、解説などが見える化し、5教科は必ず教科会で話し合う。
4 生徒の心のケア、見守りの徹底、マナー・ルール指導に、全教職員が取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ① 東京都教育ビジョン「誰一人取り残さない」方針に従い、生徒指導や生徒支援を行う。 ② 配慮が必要な生徒を全教職員が情報共有して見守る体制や個別支援会議を行う。 ③ 身だしなみ、ヘルメット着用、遅刻指導は全教職員が同一歩調で指導する。 ④ 生徒からの要望は対話を大切にし、生徒の要望を吸い上げ必ず検討する場を持つ。 ⑤ 全教職員がいじめを見逃さず、絶対に許さない姿勢を研修し、生徒に語り、徹底する。 ⑥ 教職員による体罰、不適切な言動0を目指し、未然に防ぐよう、組織的に対応する。 ⑦ 学校が安全・安心な場所となるよう、全教職員で日頃からリスク管理を徹底する。
5 全教職員が相互理解し合い、校務の効率化を図り、ライフワークバランスを実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 全教職員がコンプライアンスを遵守し、サービス事故0を目指す職場風土を醸成する。 ② ライフワークバランスのため、部活動顧問は部活動指導員単独指導を推奨する。 ③ 学校全体で仕事のムダ・ムラをなくした上で、教職員の仕事を平準化する。 ④ 校務には必ずメインとサブを配置し、ミス防止、引継ぎ軽減、OJT、効率化を図る。 ⑤ 職員室フリーアドレス化後は、心得を守り、壁、物、紙を減らし、職場の風通しをよくし、仕事の効率化や意識改革を図る。特にコミュニケーションを積極的に取るよう心掛ける。 ⑥ 年休・夏休消化、テレワーク活用、定時退勤を心がけ、時間外勤務意識する。 ⑦ 校長が発行する時間外勤務時間の推移を意識し、ライフワークバランスを実現する。月ごとの時間外勤務45時間以上を0名とする。

(2) 重点目標と数値目標

	重点目標	予定、手だて	数値目標
学習指導	① 授業満足度UP ② 授業計画・ルーブリック作成 ③ 各種検定合格率アップ ④ デジタル活用推進	① 生徒による授業評価2回実施、分析、改善 ② 7月末までに全科目見直し、完成、提出 ③ 傾向と対策指導、サマーゼミ、全員受検 ④ 端末使用授業見学、Teams、スタサポ活用事例公表	・肯定意見90%以上 ・提出率100% ・昨年度より上回ることを目標 ・肯定意見80%以上
進路指導	① キャリア教育体系化見える化 ② サマーゼミ講座充実、参加増 ③ 進路希望調査年3回実施 ④ 模試分析会2回以上 ⑤ 進路指導満足度UP	① 年間計画公表、キャリア通信発行 ② 5教科は進学対策、補習対策を実施 ③ データを見える化、分析し意識化、共有 ④ 職会Bで2回、生徒は各年次2回以上 ⑤ 生徒による進路指導評価2回、分析	・HP公表、毎月発行 ・平均学習時間1時間以上 ・3回実施、分析 ・2回実施、分析 ・肯定意見80%以上
生活指導・特別活動等	① 全員揃うSHR ② 身だしなみ良好者増 ヘルメット着用、事故0 ③ 生徒指導満足度UP ④ 部活動加入率 ⑤ 生徒会・委員会活性化 ⑥ 三大祭の成功 ⑦ 地域ボランティア活性化 ⑧ ビブリオバトル開催、読書推進	① 遅刻常習者への指導徹底 ② 生徒部、年次の連携、全教職員の指導 生徒部、プロパーによる朝の正門指導 ③ 生徒による生徒指導評価2回、分析 ④ 部活動紹介、体験部活動によるPR ⑤ 生徒主体の定例会、生徒総会の充実 ⑥ 体育祭、桜橙祭、合唱祭は生徒主体運営 ⑦ 生徒会、部活動による積極的取り組み ⑧ 図書委員会主催、図書館活用対策	・クラス1日1名以下 ・継続違反者0 ・着用100%、事故0 ・肯定意見80%以上 ・部活動加入率85% ・定例会年3回以上 ・満足度80%以上 ・10回以上参加 ・応募10名、不読率50%
募集・広報	① 戦略的な募集対策 授業公開、部活動公開増 ② HP、SNSの更新、学校通信 ③ 学校説明会生徒活躍	① 新入生・保護者アンケート、母校訪問、授業・部活動公開、中学校説明会、出前授業等 ② HP、SNS更新はリアルタイム、通信発行 ③ オープニング、生徒会長挨拶、広報委員受付	・中学説明会10校内7回、校外5回 ・更新800回、12号 ・推薦2.0倍、学力1.3倍
国際交流	① 韓国研修旅行、成功 ② オンライン交流増 ③ 姉妹校、留学生もてなし ④ 都主催国際交流参加者増	① 事前事後に探究学習として取り組む ② 姉妹校との交流を3回以上実施する ③ 海外交流委員会中心にイベントを企画 ④ 事前説明会を開催し、説明、支援する	・事前事後指導3回 ・姉妹校交流3回以上 ・満足度100% ・参加者25名以上
外部連携	① DXハイスクールの取組み ② 理系チューター配置 ③ 大学、NPO、IT企業と連携 ④ 学運協、防推協との連携	① 大学、企業との連携強化、コンサル活用 ② 授業後の理系科目指導 ③ キャリア教育支援、校内研修主催など ④ 提言・支援、防災訓練など連携を強化	・連携5回以上 ・25時間以上 ・校内研修2回 ・年間3回、年間2回
環境美化購買	① 校内美化と清掃意識向上 ② ラウンジ、トイレ美化 ③ 花咲くプランター設置 ④ 職員室改善後の取組み ⑤ 魅力的な自販機増設 ⑥ 昼食ネット注文	① ゴミや散らかりのない校内美化を維持・継続 ② 公共のマナー向上とモラル意識 ③ 季節の花々の咲く学校として維持・管理 ④ 心得・管理の徹底、新たに休養室設置 ⑤ コンビニ自販機3、4階設置、飲料種類検討 ⑥ 昼食ネット注文の受け取り場所として検討	・肯定意見80%以上 ・肯定意見80%以上 ・肯定意見80%以上 ・肯定意見80%以上 ・肯定意見80%以上 ・肯定意見80%以上
働き方改革	① 年休・夏休取得率UP ② 時間外勤務45時間超え減 ③ 長期休業中計画的テレワーク ④ 部活動指導員単独指導増 ⑤ 仕事のムダ・ムラを減らす	① 昨年度年休15日以上取得率54%を上回る ② メリハリのあるライフワークバランス推進 ③ 校内体制に支障がない範囲で計画的取得 ④ 部活動指導員配置の意義を理解した活動 ⑤ 働き方改革PTアンケート結果の検討	・年休15日取得100% ・昨年度19名→10名以内 ・昨年度43%→100% ・単独指導率100% ・2回実施回答率100%
経営企画室	① 予算執行率UP ② 適正な業者選定、事務処理 ③ 校内補修、危険個所の点検 ④ 丁寧な来客・電話対応	① 予算ヒアリング徹底、全教職員が執行に協力 ② コンプライアンス重視、複数による点検 ③ 校内点検、責任箇所の報連相を確実に行う ④ 学校の顔としての対応、確実な伝達	・予算執行率100% ・不正0、ミス0 ・危険個所報告漏れ0 ・肯定意見80%以上